



Collection

貴重書・コレクション紹介

Collection no.5

Toulouse新版
(名古屋図書館)Lyon新版▶
(豊橋図書館)

名古屋図書館

フランス・イエズス会士書簡集

Lettres édifiantes et curieuses, écrites
des missions étrangères

『Toulouse新版』 名図事務198.25:L56:1~26

『Lyon新版』 豊図書庫J080:68:1~14

本書は「…18世紀において世界の各地で布教に従事した主としてフランス・イエズス会士の書簡を集めたもので、1702年にその第1集が出版されて以来、随時続刊され、1776年に第34集が出されてひとまず完結したものである。」(大家矢沢利彦『Lettres édifiantesの諸版本について』『埼玉大学紀要』人文科学篇 第16巻、1967年)というものです。

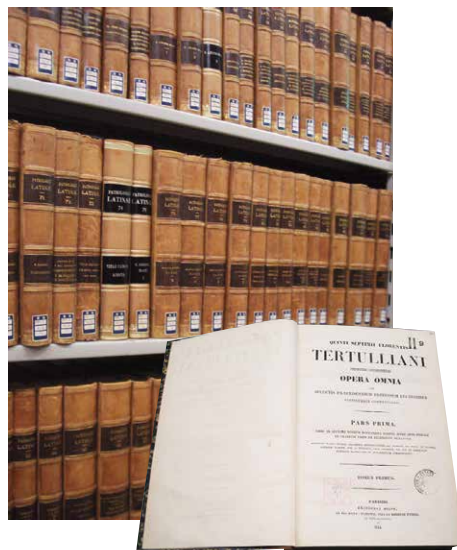
同書は全部で23種類の異なる版本が出ています。愛知大学にはそのうち、23種のリストの6番目に位置する「Lyon新版(LN)」(1819年、14 vols.)と呼ばれるものが以前より豊橋図書館所蔵竹村文庫の中に収められています。これに加えて新たに同リストの5番目の「Toulouse新版(TN)」(1810年-1811年、26 vols.)が、名古屋図書館に所蔵されることになったのです。

「Paris新版」を下敷きにした「Toulouse新版」は「Paris原版」を下敷きにした「Lyon新版」とは版本の系統が異なり、また原版の「Paris新版」がその後の多くの版本に影響を及ぼしたこと、更に地域別に編集されている等のことから、利用者には使い勝手が良いように思います。

「Lyon新版」も「Toulouse新版」も国内所蔵図書館は多くはなく、所蔵図書館には斯界の研究で名立たる大学図書館の名前が目にとまります。このたび愛知大学は「フランス・イエズス会書簡集」の数ある版本のうち、大変意義のあるこの「Lyon新版」と「Toulouse新版」という二種類の版本を備えたことになります。この二種を所蔵する国内の大学図書館は他に見当たらないように思います。

今回名古屋図書館に収められたものはかつて宗教改革の時代にムーラン(Moulins)で活躍した多くの修道会のひとつであったイエズス会の修道院の図書室に大切に置かれ閲覧されていたものが、修道院が他に譲渡される際にどこかの誰かに手放されたということになり、その後も大切に保管され続け、今回不思議な巡り合わせで愛知大学名古屋図書館に辿り着いたものと思われまます。今後もまた、この版本が大切に保管され利用されることを願ってやみません。

Collection no.6



豊橋図書館

J.-P. ミーニュ 『教父著述全集・ラテン語シリーズ』
221巻 (うち4巻はインデクス)J.-P. Migne, Patrologiae cursus completus.
Patrologia latina, 221 vols., Paris, 1844-1864.

豊図書庫 089.2:Mi16:1~221

J.-P. ミーニュは19世紀フランスのカトリック神学者、聖職者で、比較的安価に神学書などを流布させるためにパリ近郊に自ら印刷所を設立しました。『教父著述全集・ラテン語シリーズ』全221巻および『同・ギリシア語シリーズ』全161巻という膨大な史料集もこの印刷所での刊行物でした。前者は西方教会、後者は東方教会を対象としていて、東西ヨーロッパのキリスト教全体を覆うようになっています。前者がここで紹介するコレクションです。

教父とは古代および中世初期のキリスト教思想家・著作家のうち、その信仰、思想、生活が全教会の模範となるような人々について用いられる名称です。しかし内容は教父の著作に限らずもう少し広い範囲に及びます。一般の神学者、年代記者などの著作、教皇を初めとする高位聖職者の書簡、公会議録など、西欧キリスト教世界に於ける教会生活に関わるさまざまな種類のラテン語史料を含み、それらが年代順に配列されています。一番早い時期に属するのがカルタゴ生まれの教父テルトゥリアヌス(160年頃~220年頃)の著述で、最後は教皇インノケンティウス三世の在位期間の終わり(1216年)を越えることはありません。また19世紀半ばにただ一人で比較的短い期間内に纏め上げたものだけに、誤りも少なくないと言われており、20世紀半ば頃から覆う時代も著述の数も拡大した新たな全集(Corpus Christianorum)の刊行が始まり現在も継続中です。それでも本コレクションは今なおヨーロッパ中世史の基本史料集として第一級の価値を保っています。

今日では、この『教父著述全集』はCD-ROM版も出されており、またオンラインでも参照可能ですので、原本の有用性は低下したと言えるかもしれませんが、本学図書館の所蔵する原本は後に出版されたりプリントではなくオリジナル版で、保存状態は完璧と言っていいほど良好です。膨大なコレクションのうちの一冊を手にとれば、古い重厚な時間を湛えた古書の香りを十分に感じることができるでしょう。